

令和4年10月13日研究公開報告

令和3・4年度大隅地区研究協力校研究公開

大崎町立持留小学校で

「算数科（ICT）」についての研究公開が開催されました。

令和4年10月13日（木）に、大崎町立持留小学校にて、大隅地区研究協力校「算数科（ICT）」の研究公開が行われました。持留小学校は、研究主題を「互いに学び合う力を育てる学習指導の工夫～ICT活用による数学的な見方・考え方を働かせた学習を通して～」と設定し、2年間研究に取り組みました。各教室には、これまでの研究の成果物が展示され、研究の確実な積み上げが感じられました。新型コロナウイルス感染症対策も徹底しており、充実した日程で素晴らしい研究公開を行うことができました。



【閉会のあいさつ】幸福ひとみ校長先生

【研究発表】

「学び合いの工夫」「学習の振り返りの工夫」「学習場面に応じたICT活用の工夫」の3つの視点で、研究してこられた成果を、研修係の下別府教諭が発表されました。学び合いの形態の工夫や三角ロジックの活用により、課題であった協働的に学び合う態度が育成されてきました。終末では、ロイロノートで作成した振り返りカードの活用を継続されてきました。ICTの活用を図ることで、お互いの考えの共有・比較がしやすくなりました。



【公開授業：第2学年】

単元名「三角形と四角形」

本時は、「三角形と四角形を弁別する」という内容で、三角形や四角形は、直線で囲まれた形であることに気付かせる授業でした。ペア等で話し合う活動では、全てのペア等で積極的に対話が行われました。まとめに入るときの教師の声掛けに対して、「もう、まとめなの。」という子供の声がありました。



【公開授業：第3・4学年】

単元名 3年「小数」、4年「小数」

本時は、3年生が「小数の加法を、筆算を使って計算する」、4年生が「小数第二位までの加法の筆算の仕方を知る」という内容で、同時導入で授業を展開しました。ICT支援員と協力して作った教材をはじめ、その他の準備や個への対応が丁寧に行われていたため、子供たちが生き生きと学習に取り組んでいました。



【研究協議】

2つの分科会に分かれ、「学び合いを充実させるための手立て」及び「効果的なICTの活用のための手立て」を協議の柱にして研究協議が行われました。参加者からは「2年生でこんなにタブレットを使えてすごい。」
「作成した教材をぜひ共有してほしい。」等の声がありました。

